

科目 18

科目名	中小企業成長戦略 SME Growth Strategy		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・木・4 限	春・木・5 限	-	-
担当教員名	上村 孝樹	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>コロナウイルスによるパンデミックの発生で世界の経済環境が急激に悪化、ウイルス収束の見通しも立たず、先行きが不透明になっている。日本の中小企業、零細企業の倒産・廃業が急激に増えており、21 世紀に入って最大のピンチに直面している。市場が急速にシュリンクしている一方で、リモートワークへの対応など IT を全面的に活用したビジネスモデルへの転換も遅れているなどから中小企業のビジネスリスクが急激に高まっている。アジアにおいて中共 (CCP) の急激な勢力拡大と覇権主義によってグローバルに取引を展開するビジネスのリスクも高まっている。以上の認識に立って中小企業が難局を乗り越え継続的に付加価値を高めていくための戦略を解説、日本企業の成功事例を理解しながら今後の対応策を考える。</p> <p><到達目標></p> <p>「日本の中小企業の構造的な問題点と対策を理解する」「社会・経済環境の変化のキーワードと応戦略を理解する」「継続的に付加価値を向上させるための経営戦略を理解する」「顧客を継続的に獲得するための戦略を事例から学ぶ」「21 世紀市場で勝ち残る自立化戦略・市場開拓戦略を事例から理解する」「ICT イノベーションの影響と対応策を活用できるレベルで理解する」</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>授業方式は、講義を中心にするが、授業形態がテレビ会議などを取り入れて多様化してきていることを考慮して、タイムリーに質疑応答 (QA) を取り入れて双方向で理解力が高まるようにする</p>				
<p><講義計画>授業の進展度合いによって変更がある場合は、学内 SNS や授業の中でお知らせします</p> <p>1 回目： 21 世紀市場の特質と攻略方法を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：20 世紀市場と 21 世紀市場の違いを明確に理解し、付加価値向上で勝ち残る戦略を学ぶ <p>2 回目： 上記の戦略に基づいた成功した中小企業の事例を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：倒産寸前から復活し、成功企業となった段ボールメーカーの成功戦略を学ぶ <p>3 回目： 日本の中小企業の特徴と強みや弱点を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：中小企業の数、下請け構造、創業年数、老舗企業の特徴など理解する <p>4 回目： 創立 200 年以上続く老舗の中小企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：200 年以上ビジネスが続いている企業の勝ち残りの条件を導き出す <p>5 回目： 3.11 東日本大震災後の社会・市場の変化がもたらす主要なキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：3.11 震災以降に大きく変革している社会意識、市場の変化がもたらすキーワード解説 <p>6 回目： 働き方改革の時代に求められるダイバーシティ戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：ダイバーシティ戦略と対応した企業の事例を理解する <p>7 回目： 経営自立化の要件と、ビジネスモデル転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：完全下請けから脱却した SUWADA、愛知ドビー、パーミキュラなどの成功事例 <p>8 回目： ブランディング戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：中小企業のブランディング戦略とその重要性を学ぶ 				

9 回目： ビジネスリスクと対応策

・要点：中小企業のビジネスリスク抽出と対策立案の基本的な考え方を学ぶ

10 回目： 地域経済復活戦略・持続的に地域の発展を図るための戦略を事例から学ぶ（1）

・要点：地域経済の危機を里山資本主義で復活させた徳島県の山間部「葉っぱのまち」

11 回目： 地域経済復活戦略・持続的に地域の発展を図るための戦略を事例から学ぶ（2）

・要点：行政に頼らずに自立の道を成功させた鹿児島県「やねだん地区」

12 回目： 地域経済復活戦略・持続的に地域の発展を図るための戦略を事例から学ぶ（3）

・要点：木材しかない森林に囲まれた地域を強みに変えた岡山県真庭市、北海道下川町

13 回目： 地域経済復活戦略・持続的に地域の発展を図るための戦略を事例から学ぶ（4）

・要点：超零細企業でも地元 IT 企業とのコラボで完全市場開拓に成功した上村精工

14 回目： 最新 IT の活用で中小企業が生き残る特化戦略（1）

・要点：5G、AI、VR、ドローンなどの最新テクノロジー活用に特化して他社にない力をつける

15 回目： 最新 IT の活用で中小企業が生き残る特化戦略（2）

・要点：農業・漁業・林業分野に適用。植物工場、養殖、などのニッチビジネスを成功させる

<講義の進め方>

講義を中心に適宜、質疑応答を取り入れて双方向性で理解力を高める

<事前事後学修内容>

授業で使用するテキストを事前に分割して SNS にアップします。事前学習・事後学習のポイントを授業で指示します

<予習・復習時間>

各回の予習・復習には計 4 時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をします。

<教科書及び教材>

テキスト、演習・分析シートなど授業で使う資料はすべて Teams 等に掲載、デジタル情報の形で提供します

<参考書>

21 世紀型中小企業の経営成功事例研究書として「IT 経営百選データブック 2」（上村孝樹編著）が、大学院の図書室にあります

<成績評価方法>

欠席 6 回以上は成績評価しない。

成績評価は、期末試験レポートの評価配分が 75%、残り 25% が授業のディスカッションへの貢献度を評価する

<課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法>

期末試験に関しての全体に対するフィードバックは Teams 等にアップする

<履修条件>

パソコンを使用して予習・復習のリサーチができる人。質疑応答で積極的に発言する人。期末試験レポートは、Word ファイルで回答文書ファイルを作成、上村にメール送信できる人。送信アドレスは、kamimura@kamimura-takaki.com です

<ディプロマポリシーとの関連>

アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当

<録画映像の視聴> 可

<オフィスアワー>

非常勤講師のため、e-mail で連絡すること

<その他> 授業で使用するテキストや資料は SNS にアップするので、予習・復習を十分行ってください。具体的な事例としてテキスト内に URL を表示している場合は、Web をアクセスして情報を収集して理解を深めてください